

夏34年ぶり...やっと



小樽潮陵 北照破る

厚い壁を、打ち破った。小樽地区で小樽潮陵が、今春の全道大会を制し、2年連続で夏の甲子園出場を狙った北照を9-2の7回コールドで下し、34年ぶりの

第96回全国高校野球 南北北海道大会
地区予選
2日目を決めた。同大会は2点の7回2死走者なしから、2

四球挟むら連続長短打で得点の猛攻でプロ注目左腕の北照・斎藤綱記投手(3年)を攻略。夏は34年ぶりに、甲子園常連校の北照を撃破した。

布石左打者7人
小樽潮陵ナインは、決めていた。少しでも相手投手が投げづらいうように、打席をベイス寄り、前のほうに立つ。9人中7人の左打者を並べたのも、左打者を苦手にする北照の左腕、斎藤二塁打と、2四球を挟むら

た7回2死走者なし。対策が、突った。9番佐藤一帆(遊撃手(3年))の中前打から始まって、打者11人を送る怒濤(ごとう)の攻撃。奈良知実(としみ)右翼手(2年)の勝ち越し適時打に、4番五十嵐大(けん)を並べたのも、左打者を苦手にする北照の左腕、斎藤二塁打と、2四球を挟むら

2者連続三振直後 斎藤悪夢の心
魔の7回に、北照の剛腕左腕が沈んだ。公式戦では06年春季全道大会1回戦の旭川実戦以来、8年ぶりのコールド負け。プロ注目の斎藤綱記投手(3年)は、わずか7回の登板で終わった最後の夏に「自分の心の弱さが出た」と泣きじゃくった。

これが野球の怖さ
●北照・河上敬也監督(55)「これが野球の怖さ。守りのミスから、チームが崩れた。斎藤を代える気は一切、なかった。あいつを代えるという事は、負けるということ。悔いの残る試合ですね。」

愛大(かなた)右翼手(3年)は「いつもは違いますが、外野から声をかけ続けたけれど、届かなくて、どうするかも分からなかった。どうも、2年連続で夏の甲子園のマウンドに立つという斎藤の願いは、かなわず。今後

校章 校名 校名 創設年 創設地 地区予選成績

小樽潮陵	1905年	1902年	創設地	地区予選成績
小樽水産	1959年	1904年	創設地	地区予選成績

校歌を歌う小樽潮陵ナイン。奥はベンチ前に整列する北照。斎藤投手(右)4番士門右翼手(中央)ら、涙をこぼる北照ナイン

夏の北照地区予選成績

対校	勝	敗	引
小樽潮陵	10	0	0
北照	0	10	0

7回2死から5連打7点

小樽潮陵(小樽地区予選)が、7回コールドで北照を破る。原田洗太投手(3年)は「うれい」と選手に言いたい。北照を尊敬しているけれど、勝負では勝たなかった。

